

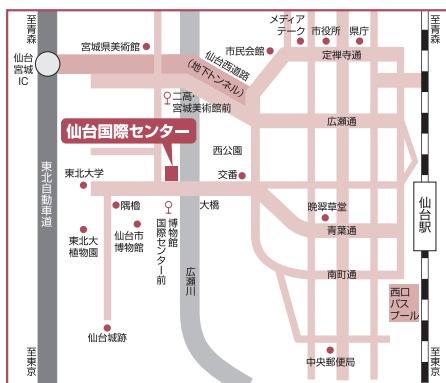
最近の固化処理について

主催 社団法人セメント協会

後援 (公社) 地盤工学会東北支部
(公社) 土木学会東北支部
(公社) 日本コンクリート工学会東北支部
(社) 日本建設業連合会東北支部
(一社) 建設コンサルタンツ協会東北支部

趣旨 「セメント系固化材による地盤改良マニュアル」は、1985年に初版を発刊して以来、建設技術者の手引書的な役割を担って参りました。第4版では、第3版改訂以降の10年間の新技術・建築基礎地盤の改良・固化不溶化などの分野の充実を図ると共に、現場に役立つと思われるデータ類を数多く記載しました。本セミナーは、この改訂版をテキストとし、最近の固化処理について編集に携わった先生方による講演を行います。この機会に是非ともご聴講いただきますようご案内いたします。

- 日時 2013年3月5日(火) 10:00～16:50
- 場所 仙台国際センター 2F・大会議室 橋
[〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地]
- 定員 200名(定員になり次第締切させていただきます)
- 受講料 1名あたり 12,000円(テキスト代を含む)
- 申込先 受講ご希望の方は、2013年2月27日(水)までに、
① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。
② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 社団法人セメント協会、口座番号: 00170-9-196803)で下記宛お振込みください。
①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062
- CPD 本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です。



◎仙台駅(西口バスプール9番)からバス10分
◎仙台駅からタクシー7分 ◎仙台駅から徒歩30分

講演

1 総論—セメント系固化材の地盤改良への多様な展開— 10:00～10:30
今回「セメント系固化材による地盤改良マニュアル」が改訂となった。改めてセメント系固化材の利用の経緯と地盤改良材としての特徴、およびその適用と留意点等に関する最近の動向について、概要を述べる。
キーワード: 地盤改良、固化材の機能、工法の特徴、適用の部位、廃棄物の適正処理
京都大学名誉教授 嘉門雅史氏

2 地盤改良の原理と改良土の特性 10:30～12:00
セメント系固化材の種類と使用方法を紹介するとともに、固化の原理と改良土の物理・力学特性を説明する。また、セメント系固化材の用途として浅層改良・発生土の改良の概要について述べる。
キーワード: 固化材、固化原理、改良土、浅層改良、発生土
(社)セメント協会 セメント系固化材普及専門委員会 齋藤準護氏

3 深層改良 13:00～14:00
深層改良における用途の適用例、格子式、杭式およびブロック式改良地盤の設計法の基本的な考え方や手順を示す。また、各種工法の施工手順の概要、施工上の留意点 および施工管理方法の考え方についても紹介する。
キーワード: 適用事例、液状化対策、設計、配合設計、施工、施工管理、調査・試験
東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻 教授 北誥昌樹氏

4 建築基礎地盤の改良 14:10～15:10
戸建住宅等の建築基礎地盤の改良にセメント系固化材を使用した工法を用いることが一般的になってきた。本講演では建築基礎地盤の浅層改良と深層改良を対象とした事前調査、設計、施工、施工管理などの留意点について説明する。
キーワード: 小規模建築物、浅層改良、深層改良、地盤調査、設計手法、品質管理
大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻 教授 大島昭彦氏

5 環境と固化処理 15:20～16:20
土壌汚染の法整備の経緯、調査および対策の概略を述べるとともに、重金属等による汚染土壌への固化・不溶化処理の効果、不溶化機構、配合試験についても示す。また、セメント系固化材によるダイオキシン類、油類および臭気対策も含め環境保全対策を述べる。
キーワード: 環境保全、土壌汚染、重金属、不溶化
京都大学大学院地球環境学堂社会基盤親和技術論分野 教授 勝見 武氏

トピックス 16:20～16:50
地盤改良の耐震効果
—東日本大震災における地盤改良調査を踏まえて—
(社)セメント協会 震災調査WG 近藤秀貴氏

第42回セメント系固化材セミナー受講申込書(仙台)

●セメント協会普及部門宛(FAX. 03-5200-5062)にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. — —
FAX. — —

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□□-□□□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。